

研究実施のお知らせ

2021年3月4日 ver.1.0

2021年3月12日 ver.1.1

2023年1月21日 ver.1.2

研究課題名

浅側頭動脈を用いた血行再建術後の創部に関する後ろ向き調査

研究の対象となる方

2015年10月以降で島根大学医学部附属病院脳神経外科で浅側頭動脈を用いた手術加療を受けられた方。

研究の目的・意義

脳神経外科の外科的処置として頭皮を栄養する血管を脳血管に吻合する頭蓋内血行再建術があります。この手術は脳梗塞の予防や複雑な形状また巨大な脳動脈瘤に対して行われ、乳児から成人まで幅広い年齢に必要とされる治療です。頭皮を栄養する動脈の一つである浅側頭動脈が主に使用されます。ただし、頭皮を栄養する血管を利用する手術のため、術後は皮膚の血行が悪化しやすく、通常の開頭手術に比べて創部におけるトラブルが多くなることが報告されています。特にリスクとして糖尿病などが挙げられますが、頭皮を栄養する血管を多く利用することが根本的な問題と考えられています。また創部の皮膚血流障害は、癒合不全の他に頭髪脱毛、頭皮壊死、創感染などを生じる原因となります。

脳神経外科の手術では主に頭部が対象となることが多いため、他の部位に比べて手術創部が目立ち、先に挙げた創部合併症が一旦生じれば不可逆的な痕が残るため、患者さんの整容面（見た目）は大きく損なわれる可能性があるため、創部合併症は重大な後遺症と認識する必要があります。しかし、手術手技や考え方の標準化はされておらず、施設・術者によって様々です。

島根大学医学部附属病院脳神経外科では、開頭術を受けられる患者は糖尿病のコントロールを徹底し、また最小限の皮膚切開で十分な治療効果が得られるような手術戦略を患者ごとに立案し、全工程において創部に対して愛護的な手術手技を行っています。

本研究では、内科的疾患や手術手技、また開頭範囲や皮膚切開デザインといった手術戦略、術後の管理が手術創部にどのような影響を及ぼしたかということを診療情報から分かる範囲で明らかにすることです。本研究で得られた結果は、血行再建術を必要とする患者さんにとって整容面を損なう要因を明らかにし、予防方法を考える上で

の根拠となることが期待されます。

研究の方法

島根大学医学部附属病院脳神経外科で浅側頭動脈を用いた手術加療を受けたことのある患者さんを対象として、診療記録の情報を利用します。

利用する情報の具体的な項目は、年齢や性別、喫煙歴・飲酒、診断名、基礎疾患、手術・治療方法や周術期管理、画像情報や転帰などの診療情報です。これらの情報は氏名やID、生年月日などの本人を特定できる情報を削除し、代わりに新しい識別番号をつけます。識別番号と個人情報の対応表は、研究責任者以外にアクセスできないようにパスワードを設定して厳重に管理します。上記のように個人を識別できない状態に変換しますので、患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部にもれることはありません。

既存の情報のみを使用するため、対象者に何らかの負担が生じることはありません。また、他の機関に当該研究によって得られた情報を提供することはありません。

研究の期間

2021年6月1日～2027年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部脳神経外科学講座が行います。

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、治療終了後から半年後までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部脳神経外科学講座／附属病院脳神経外科 吉金 努

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2245 FAX 0853-21-8954